

ゲストスピーカー対話を終えての感想

【感想まとめ】

- ・ 対話の場の必要性、重要性
- ・ 対話の場が、新たなつながりの場になる
- ・ ウェルビーイングが高まり前向きに捉える姿勢になる
- ・ 自らの課題を前進させるきっかけになる
- ・ 自らの活動の価値の認識だけでなく、課題認識にもつながる

【個別感想】

ゲスト① 藤原真紀さん

- ・ 中高生にも、大人が楽しんでいるところを見てほしい中で、高校生からもたくさん意見をいただきました。
- ・ 高校生は小学校の時に教えた生徒で、成長を感じた。
- ・ 安定的な運営するためのアイデアをいただくことができた。
- ・ 健康体操などは、効果があると感じている人は多い。懐メロ体操したい人は声掛けしてほしい。

ゲスト② 藤原友香さん

- ・ 人と人がつながるにはどうしたらいいかについて話しあった。
- ・ 貴重な意見を今後の活動に取り入れていきたい。
- ・ 私以外にも、市民の皆さんが自分のしたいことにチャレンジできるような人が増えたらいいなと思いました。

ゲスト③ 上村梨湖さん

- ・ 集いの場、地域・こども食堂についてがメインのテーマで話した。いつでもだれでも来られるような場になるためにはどうしたらいいか尋ねた。
- ・ 私たちも手伝いたい、気軽に手伝えるサークルがあったら手伝うよと、声掛けいただいた。とても素敵な出会いの場になった。
- ・ 中高生のサポートも考えていきたい。

ゲスト④ 能見洋成さん、若菜さん夫妻

- ・ 起業について話し合いをした。
- ・ 私達のように小規模で経営すること、年齢や性別に関係なく増えたらと思った。
- ・ 地産地消、地域貢献、社会貢献とビジネスの両輪を回すことは課題が多いと感じたが、参考になる意見もおおかったので、皆さんとまた、対話しながら幸せなまちになるように取り組んでいけたらと思った。

ゲスト⑤ 清水風雅さん

- ・ 岩津ねぎをメインに話した。
- ・ 普段、農地で出会うと説教が多いが、今回の話し合いでは、販売方法を考えて観光などに活かす提案などをいただくなど、いろいろな話ができる。
- ・ 岩津ねぎ販売に活かしていきたい。

ゲスト⑥ 吉井穂菜秀さん

- ・ 猟師の高齢化、担い手不足が課題。(農業も同じ)
- ・ 解決策、支援策として、高校とか大学とかで資格取得の支援の提案があった。
- ・ ジビエは、認知が低いと思っていたが、班の人からは「抵抗がない」「おいしい」という声を聞いた。それだけでも前向きになれた。
- ・ 給食やわだやマーケットでの提供について、検討していきたい。
- ・ 新たな可能性を感じることができた。

ゲスト⑦ 北村碧さん

- ・ 地域で頑張っている人、関心があるが、どうかかわっていけばいいかという課題がある。関心のある人に関わってもらう仕組みが必要。
- ・ 後継者をどうつくったらいいのか。
- ・ 中高生などの若者から学ぶという視点は必要だと感じた。今後、取り入れていきたい。

ゲスト⑧ 椿野聖梨さん

- ・ 作家、作品のことを知ってもらうためにはという内容で対話した。
- ・ 一人で活動しているため、アイデアが煮詰まっていたが、目からウロコのような意見がたくさんあった。自分でハードルを上げていたのかもしれない。
- ・ 今日の意見をこれからの活動に活かしていきたい。

ゲスト⑨ 足立かおりさん

- ・ 音楽で人がつながれる場所、子どもが音楽に触れる機会について対話した。
- ・ 音楽をしている人はいるが、それぞれが孤立している。
- ・ それぞれが集える場づくりが必要だという意見があった。
- ・ 皆さんが集える場づくりについて、私も考えたいと思える機会になった。